

| 教科・分野 | 週時間数 | コース | クラス | 担当者 |
|-----------|---|--|---|---|
| 古典・古文 | 1 | 生命科学コース | E | 小山 潤子 |
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・時代によって、また人によって異なる多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・古語に対する知識を深める。 ・古典作品への興味を喚起する。 ・センター試験を意識して、学力を伸ばす。 | | | |
| 大切に育てたいもの | 聞くこと・話すこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・古語の音読を正しく聞く力。 ・古語を正しく音読する力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・古語を正確に筆写する力。 ・古語を適切な現代語に翻訳する力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な古典作品に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が理解できる語句を増やすこと。 ・古典文法を理解すること。 |

| 学期 | 考査 | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い |
|---------|----|--|---|
| 一学期 | 中間 | 説話「安養の尼の小袖」 (古今著聞集) 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・助動詞を中心に、既習の文法事項の定着を確認する。 ・敬語について確認する。 ・文学史的知識を得る。 |
| | 期末 | 物語 「帝の求婚」(竹取物語) 随筆 「世に語り伝ふること」 (徒然草) 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 |
| 二学期 | 中間 | 随筆「ゆく河の流れ」 (方丈記) 他 歌物語「通ひ路の関守」 (伊勢物語) 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト |
| | 期末 | 随筆「うつくしきもの」 (枕草子) 他 軍記物語「忠度の都落ち」 (平家物語) 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト |
| 三学期 | 期末 | 日記「門出」 (更級日記) 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト |
| 評価の方法 | | 学習態度・意欲(課題の提出状況も含む)・各種考査によって総合的に判断。 | |
| 学習活動の特徴 | | 古語を理解する力を高め、受験を意識して学力の向上を図る。 | |
| 授業の形態 | | 講義形式 | |
| 使用教科書 | | 『高等学校古典B』(明治書院) | |
| 使用副教材 | | 『これからの古典文法 三訂版』(尚文出版) 他 | |
| 用意するもの | | 古語辞典 | |
| 備 考 | | 特になし | |

| 教科・分野 | 週時間数 | コース | クラス | 担当者 |
|-----------|--|---|---|--|
| 古典・漢文 | 1 | 生命科学コース | E | 小山 潤子 |
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢籍の豊かで多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・漢文を読解する力を高める。 ・漢籍への興味を喚起する。 ・センター試験を意識して、学力を伸ばす。 | | | |
| 大切に育てたいもの | 聞くこと・話すこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の音読を正しく聞く力。 ・漢文を正しく音読する力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢文をを正確に書き下す力。 ・漢文を適切な現代語に翻訳する力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を正確に書けること、歴史文化への興味と思索。 | <ul style="list-style-type: none"> ・訓読を正確に行えるようにすること。 ・句法・漢語を理解すること。 |

| 学期 | 考査 | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い |
|---------|----|-------------------------------------|---|
| 一学期 | 中間 | 故事・逸話 「矛盾」他 | <ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。 |
| | 期末 | 史伝・史話 「太公望」他 | <ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。 |
| 二学期 | 中間 | 詩 「竹里館」他 | <ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・漢詩についての知識を確認する。 ・文学史的知識を得る。 |
| | 期末 | 文 「五柳先生伝」他 | <ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・筆者の主張を読み取る。 ・名家の文章を味わう。 ・文学史的知識を得る。 ・センター試験・私大入試を意識した問題演習を実施する。 |
| 三学期 | 期末 | 寓話 「五十歩百歩」他 | <ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。 |
| 評価の方法 | | 学習態度・意欲（課題の提出状況も含む）・各種考査によって総合的に判断。 | |
| 学習活動の特徴 | | 漢文を理解する力を高め、受験を意識して学力の向上を図る。 | |
| 授業の形態 | | 講義形式 | |
| 使用教科書 | | 『高等学校古典』（明治書院） | |
| 使用副教材 | | 『必携新明説漢文』（尚文出版）他 | |
| 用意するもの | | 漢和辞典 | |
| 備考 | | 特になし | |